

記載例

平成24年(ワ)第1000号

原告 ●●●●

被告 株式会社○○ 外1名

① 訴状や口頭弁論期日呼出状に記載されている  
事件番号，当事者名を記入してください。

② 本書面の作成日 → 平成★年★月★日

松江地方裁判所民事部 御中

松江地方裁判所.....支部 御中

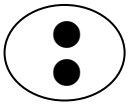
.....簡易裁判所 御中

③ 提出先の口にチェックを入れてください。

氏名（法人の場合は法人名・代表者名）

原告

●●●●



④ 押印をしてください。

訴え変更申立書

頭書事件について，原告は，次のとおり訴えを変更します。

1 請求の趣旨第1項を次のとおり変更する。

「被告は原告に対し，金☆☆万円およびこれに対する平成★★年★★  
月★★日から支払済みまで年5分の割合による金員を支払え。」

2 変更の理由

被告から平成★年★月★日に☆万円の弁済があったので，請求金額を  
減額する。

注：請求額を増額する場合，手数料の追加納付が必要な場合が  
ありますので，担当書記官までご連絡ください。

<参考条文>

- ・民訴法第143条…原告は，請求の基礎に変更がない限り，口頭弁論の終結に至るまで，請求又は請求の原因を変更することができる。ただし，これにより著しく訴訟手続を遅滞させることとなるときは，この限りでない。
- 2 請求の変更は，書面で行わなければならない。